

第 2 章

子育て家庭を取り巻く環境

第2章 子育て家庭を取り巻く環境

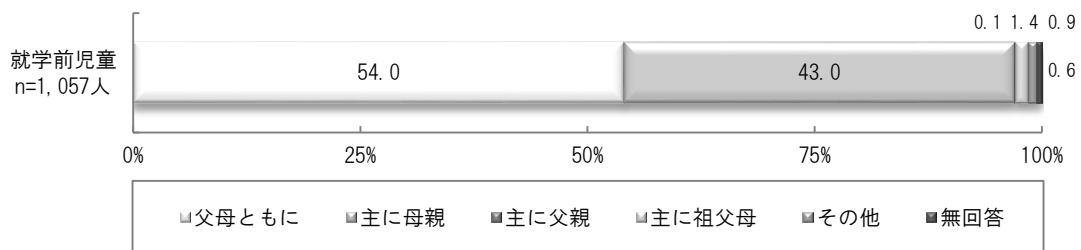
1 子育ての環境について

(1) 主な保育者と親族等協力者の状況

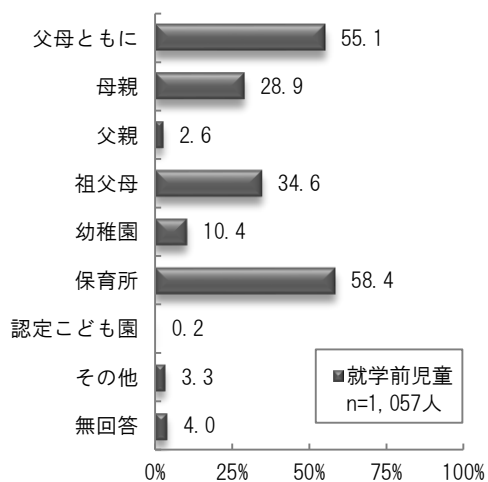
主な保育者の状況をみると、「父母ともに」(54.0%)と「主に母親」(43.0%)が大半を占めています。

こうした状況の中で日常的に子育てに関わっている方(施設含む)は、保育所(58.4%)、「父母ともに」(55.1%)、「祖父母」(34.6%)、「母親」(28.9%)の順になっています。また、子育てに影響を与える環境は、「家庭」(86.4%)が最も多く、次いで「保育所」(54.4%)、「幼稚園」(13.5%)「地域」(11.4%)、の順になっています。

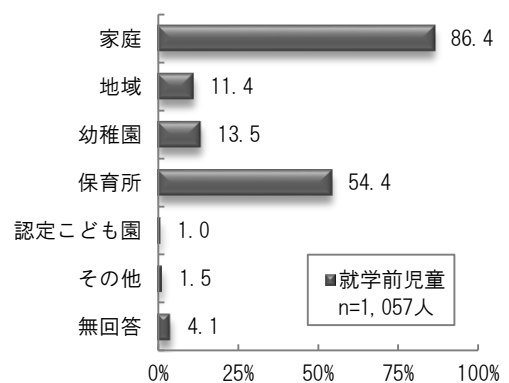
問6 主な保育者の状況



問7 日常的に子育てに関わっている方(施設含む)



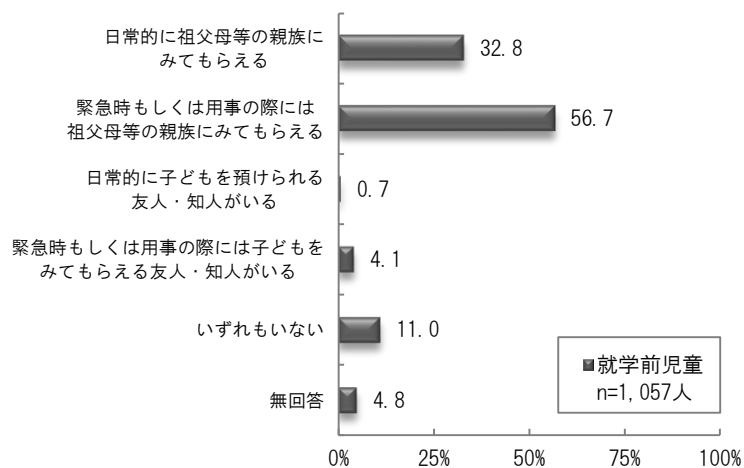
問8 子育てに影響を与える環境



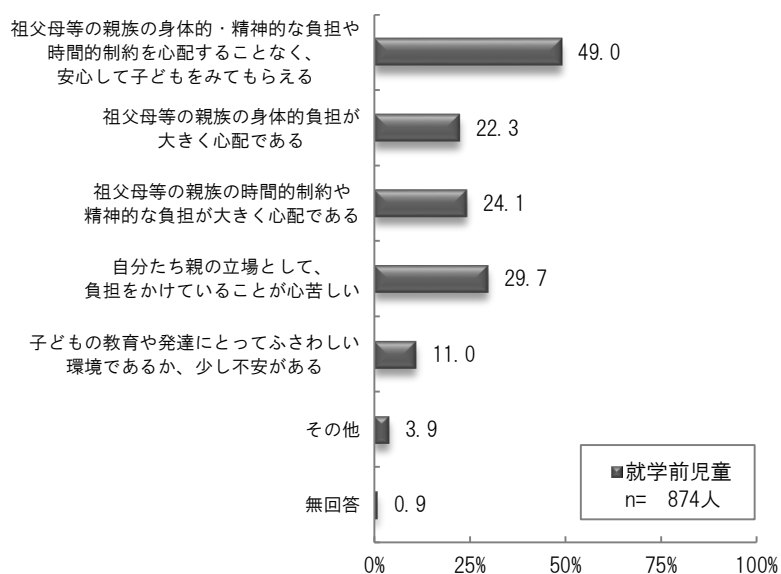
主な親族等協力者の状況をみると、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」(56.7%)が最も多く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」(32.8%)の順になっています。

祖父母等の親族に子どもをみてもらうことへの考えに対して、「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」(49.0%)がいる一方で、祖父母の身体的・精神的な負担を心配しながらも子どもを見てもらっている方(46.4%)もほぼ同数います。また、友人・知人に預かってもらうことへの考えに対して、「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」(35.6%)がいる一方で、友人・知人の身体的・精神的な負担を心配しながらも子どもを見てもらっている方(22.2%)となっています。

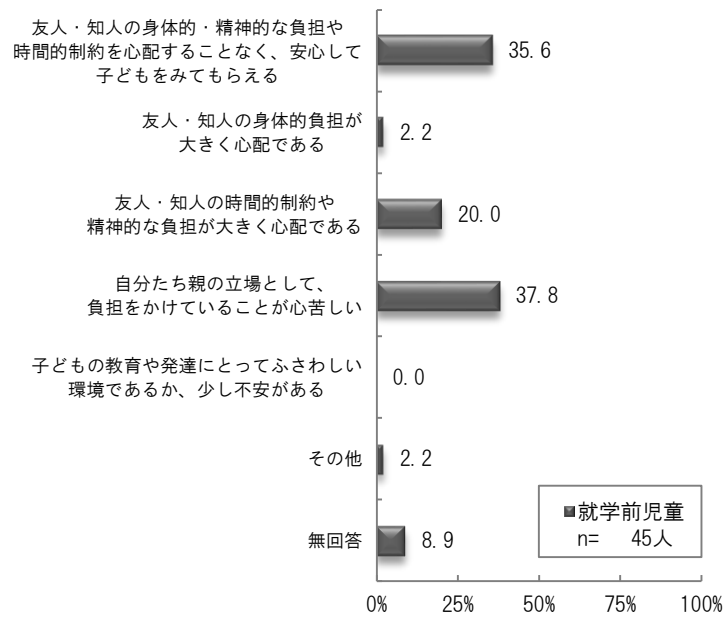
問9 主な親族等協力者の状況



問9-1 祖父母等の親族に子どもをみてもらうことへの考え



問 9-2 友人・知人に預かってもらうことへの考え

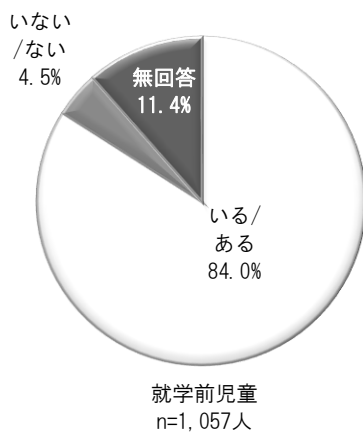


(2) 子育てに関する相談者の状況

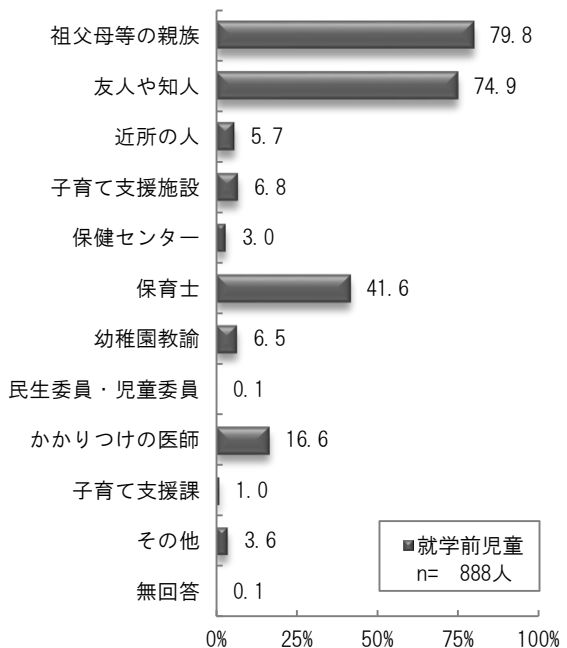
気軽に相談できる人の有無をみると、「いる／ある」(84.0%) が最も多くなっています。

気軽にできる相談者の状況は、「祖父母等の親族」(79.8%) が最も多くなっています。

問 10 気軽に相談できる人の有無



問 10-1 気軽にできる相談者の状況

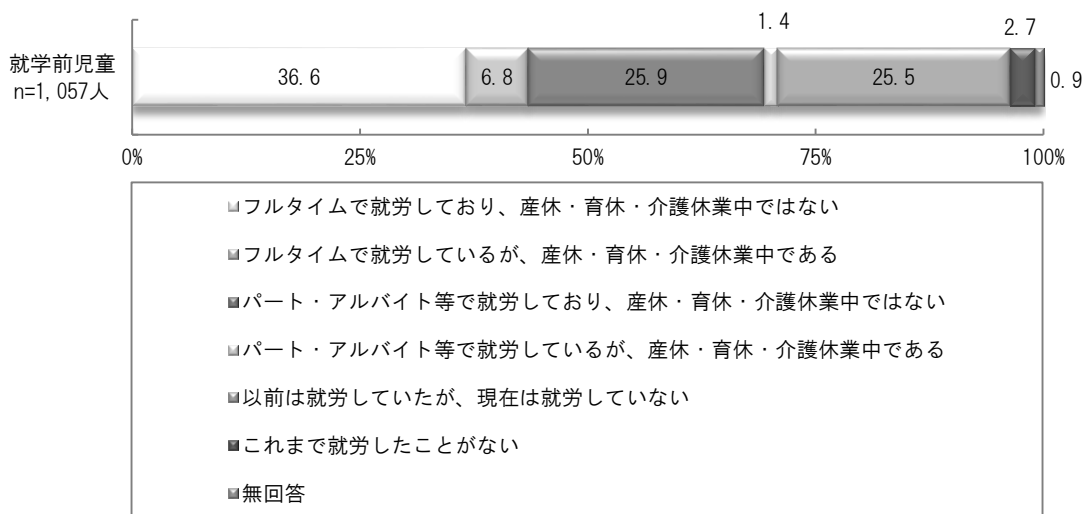


2 主な保育者とその就労状況

(1) 母親の就労状況

母親の就労状況をみると、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」(36.6%)、をはじめ 7 割近くが就労し、現在「産休・育休・介護休業中」の方が 8.2%います。

問 12(1) 母親の就労状況



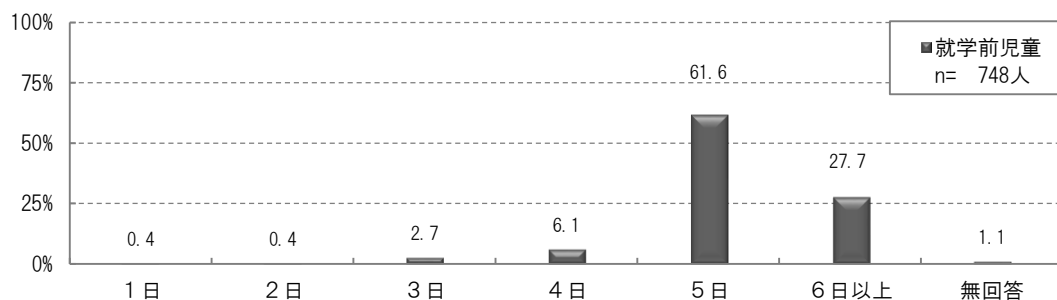
母親の就労日数・就労時間をみると、「5日」(61.6%)、「8-9時間」(46.3%)、が最も多く、「6日以上」が 27.7%います。

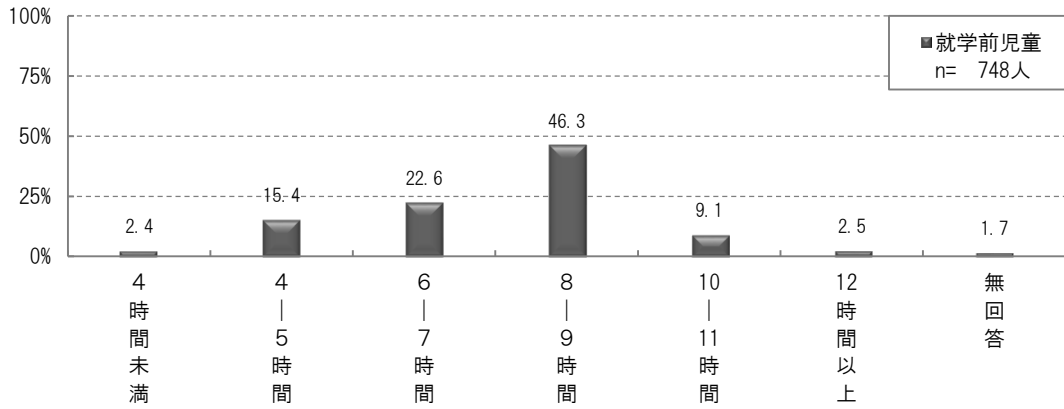
母親の出勤時間は、「7時台」(39.3%)、「8時台」(34.2%)、「9時台」(10.0%)の順になっています。

また帰宅時間は、「18-19 時台」(43.6%)、「16-17 時台」(30.1%)の順に多く、20 時以後の帰宅は 4.0%になっています。

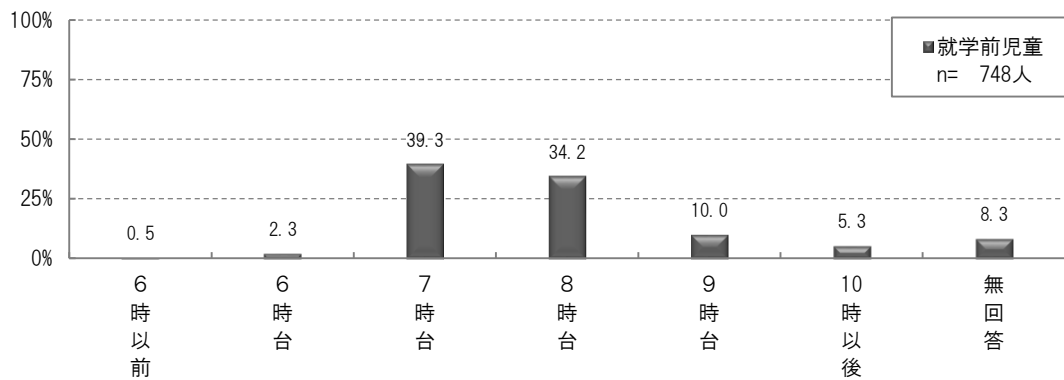
問 12(1)-1 母親の就労日数 (1 週当たり)・就労時間 (1 日当たり)

問 12(1)-1 母親の就労日数・就労時間

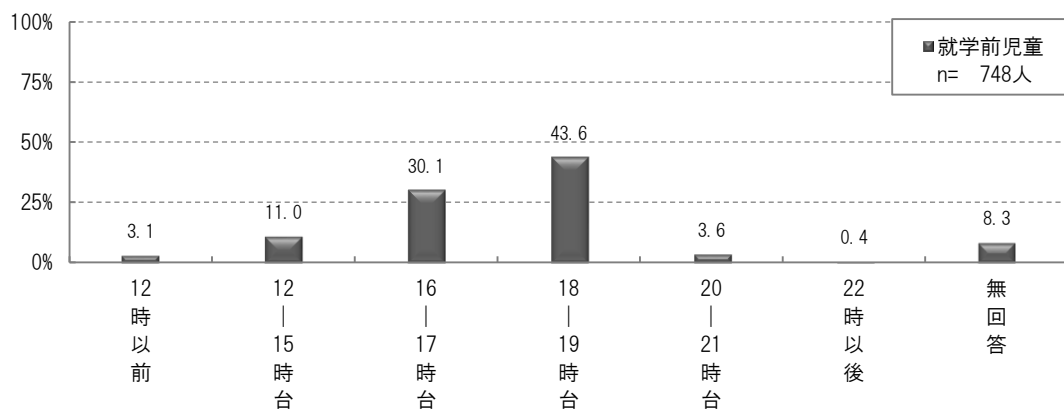




問 12(1)-2 母親の出勤時間

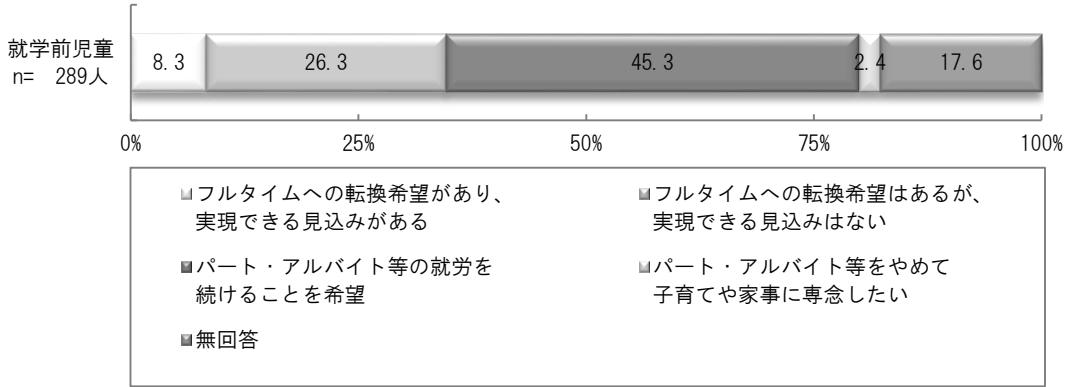


問 12(1)-2 母親の帰宅時間



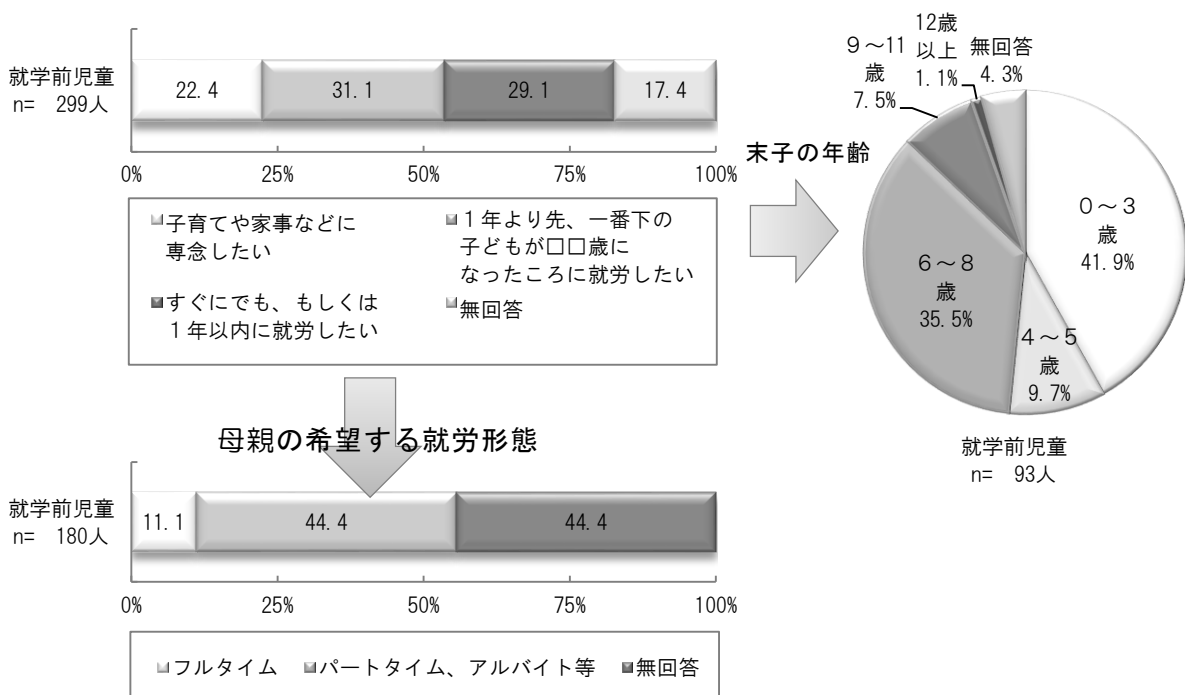
母親のパートタイムからフルタイムへの転換意向をみると、フルタイムを希望する方は 34.6%いますが、実現できる見込みのある方は 8.3%と 1 割弱に留まっています。

問 13(1) 母親のパートタイムからフルタイムへの転換意向



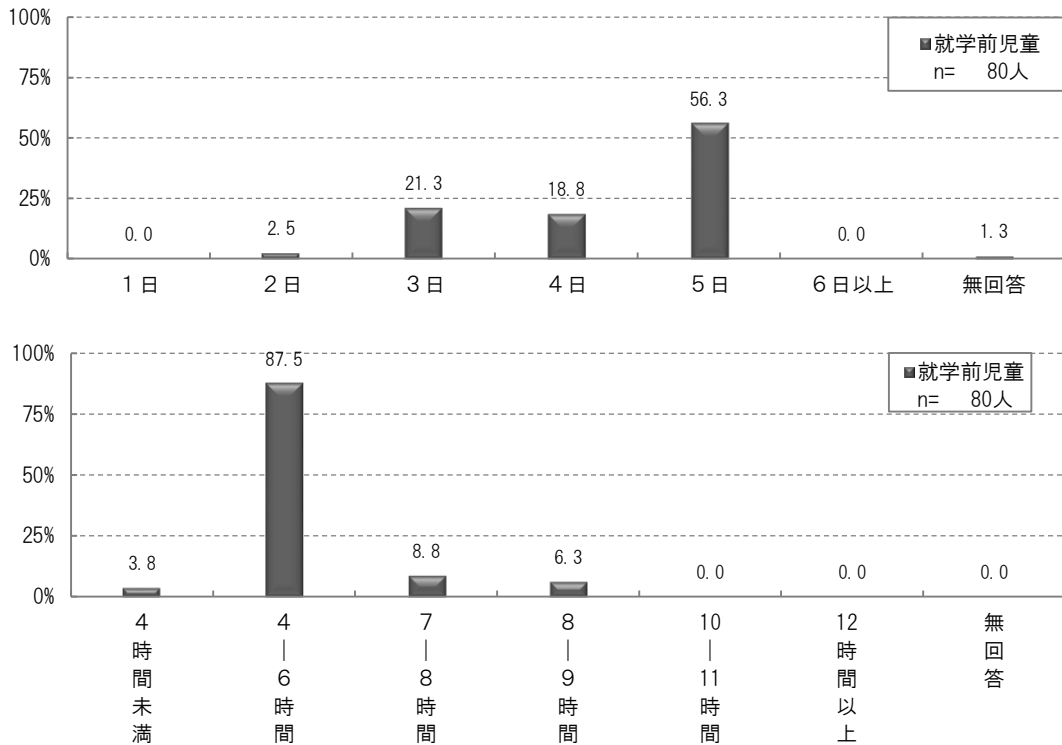
就労していない母親に対して今後の就労希望をみると、就労したい方が 60.2%となっており、その内訳は「1年より先、一番下の子どもが□□歳になったところに就労したい」(31.1%)、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」(29.1%)、希望する就労形態は「パートタイム、アルバイト等」(44.4%)、「フルタイム」(11.1%)であり、就労時期となる子どもの年齢については「0～3歳」(41.9%)、「6～8歳」(35.5%)、「4～5歳」(9.7%)の順でした。

問 14(1) 就労していない母親の今後の就労希望と就労希望時の末子の年齢



母親の希望する就労日数と就労時間をみると、就労日数「5日」(56.3%)、「3日」(21.3%)、「4日」(18.8%)の順、就労時間「4-6時間」(87.5%)、「7-8時間」(8.8%)の順になっています。

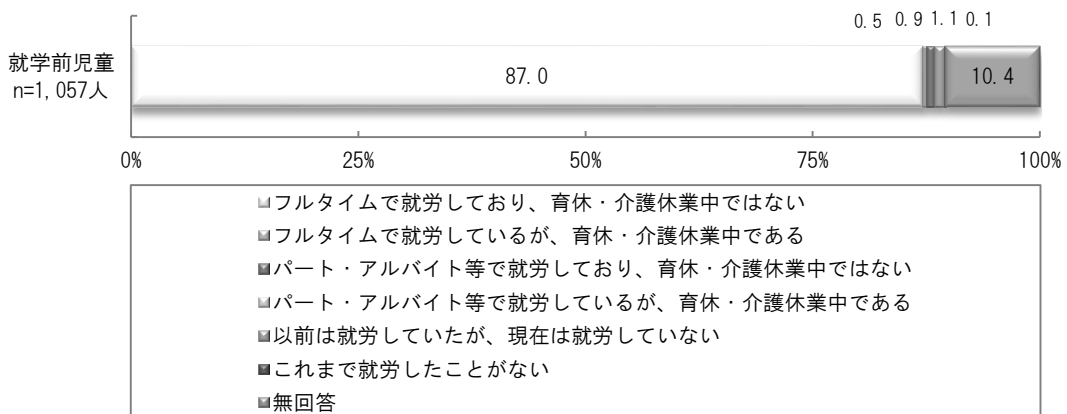
問 14(1) 母親の希望就労日数（1週当たり）と希望就労時間（1日当たり）



(2) 父親の就労状況

父親の就労状況をみると、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」(87.0%)が最も多くなっています。

問 12(2) 父親の就労状況

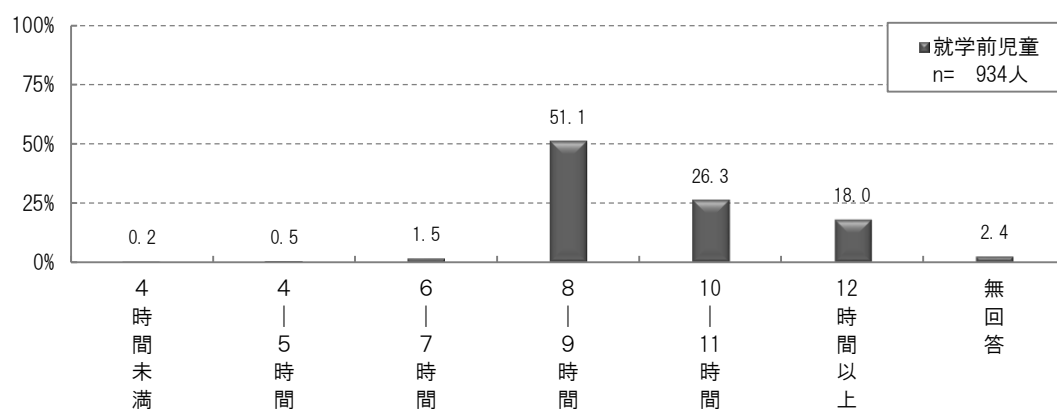
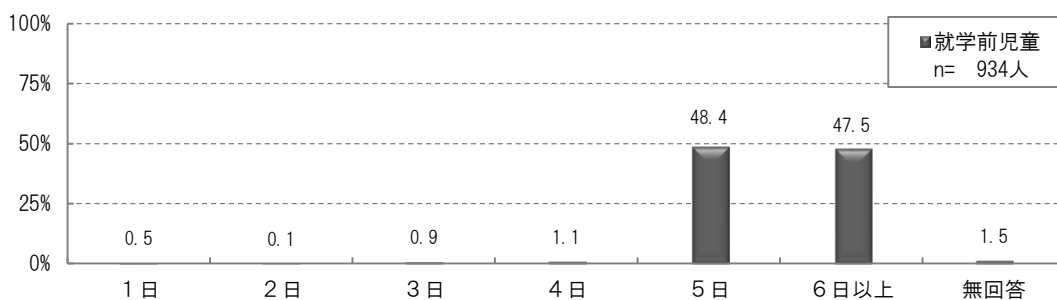


父親の就労日数・就労時間をみると、「5日」(48.4%)、「8-9時間」(51.1%)、
 が最も多く、「6日以上」(47.5%)、「10-11時間」(26.3%)、「12時間以上」
 (18.0%) となっています。

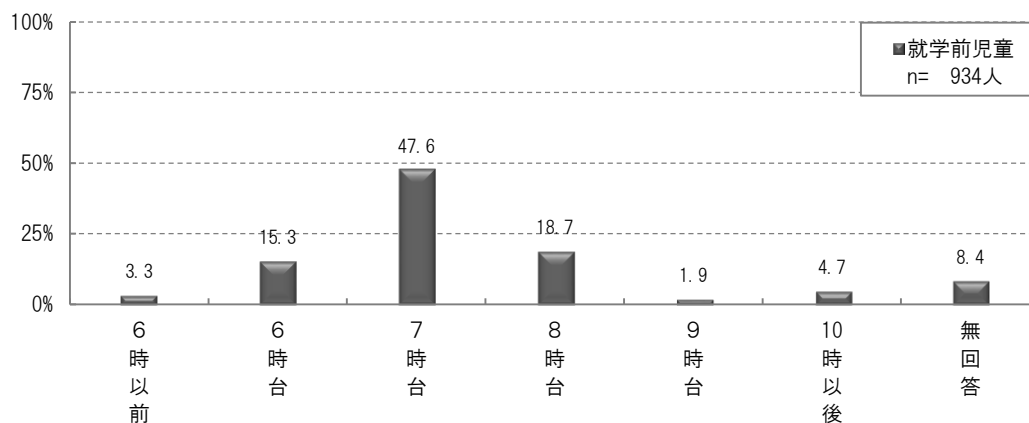
父親の出勤時間は、「7時台」(47.6%)、「8時台」(18.7%)、「6時台」(15.3%)
 の順になっています。

また帰宅時間は、「18-19時台」(42.6%)、「20-21時台」(21.1%)の
 順、22時以後の帰宅は約6%となっています。

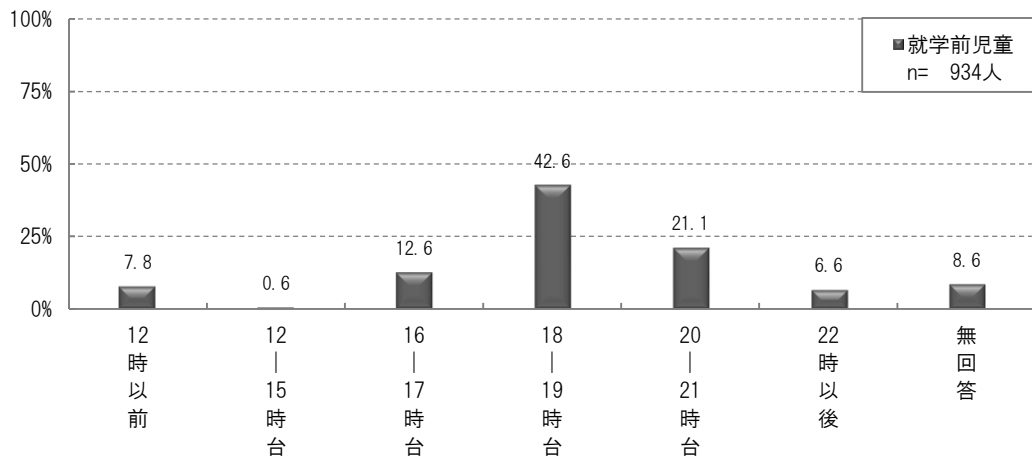
問 12(2)-1 父親の就労日数（1週当たり）・就労時間（1日当たり）



問 12(2)-2 父親の出勤時間

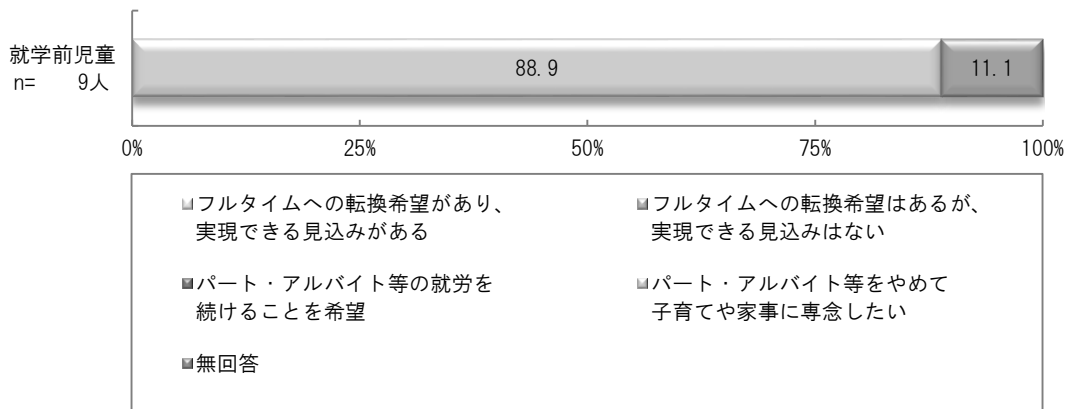


問 12(2)-2 父親の帰宅時間



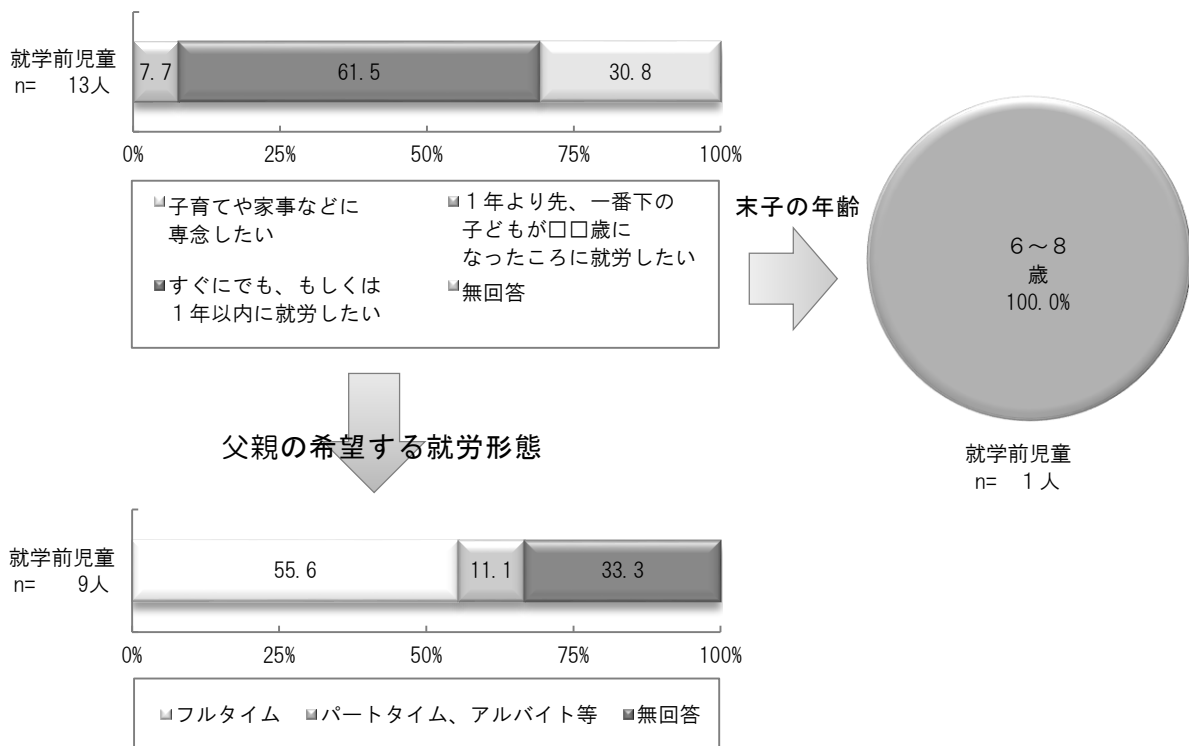
父親のパートタイムからフルタイムへの転換意向をみると、フルタイムを希望する方は 88.9%いますが、実現できる見込みのある方はいませんでした。

問 13(2) 父親のパートタイムからフルタイムへの転換意向



就労していない父親に対して今後の就労希望をみると、就労したい方が69.2%となっており、その内訳は「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」(61.5%)、「1年より先、一番下の子どもが□□歳になったところに就労したい」(7.7%)、希望する就労形態は「フルタイム」(55.6%)、「パートタイム、アルバイト等」(11.1%)となっています。

問 14(2) 就労していない父親の今後の就労希望と就労希望時の末子の年齢



父親の希望する就労日数と就労時間をみると、回答者は1人と少数となっています。就学前児童では、就労日数は「5日」の回答、就労時間は「10-11時間」と答えています。

問 14(2) 父親の希望就労日数（1週当たり）と希望就労時間（1日当たり）

